

**自らの強みを再定義し、
近未来の生活シーンの中で、
その強みをいかす可能性を考える**

工業系支援機関ネットワーク研修会 in 東北

@中小企業大学校 仙台校

2020年11月6日

本江正茂 motoe@tohoku.ac.jp

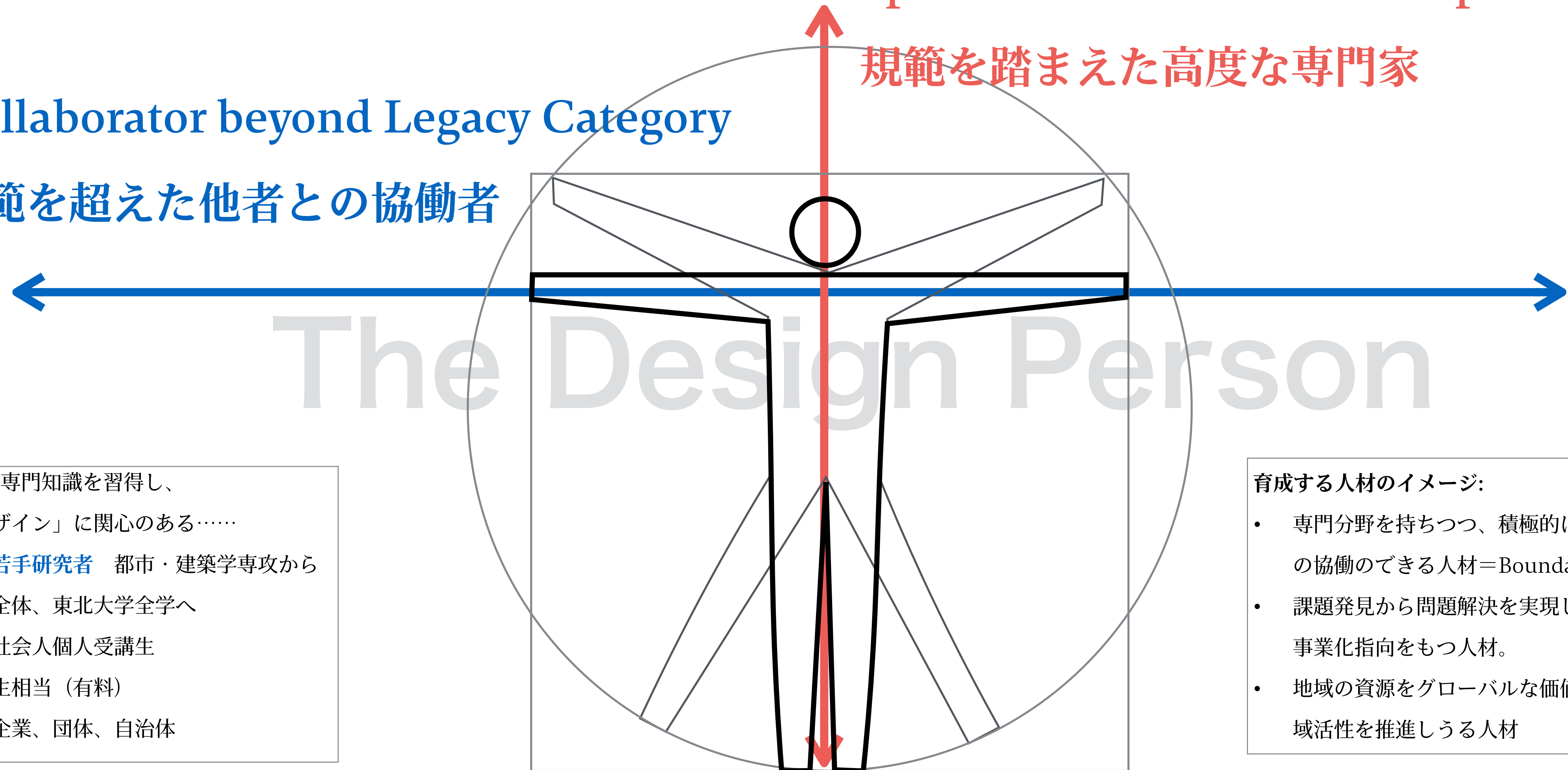
東北大学 都市・建築学専攻/フィールドデザインセンター//宮城大学

**東北大学大学院工学研究科
フィールドデザインセンター**

FDCが育成する人材像

Specialist with Authentic Expertise
規範を踏まえた高度な専門家

Collaborator beyond Legacy Category
規範を超えた他者との協働者

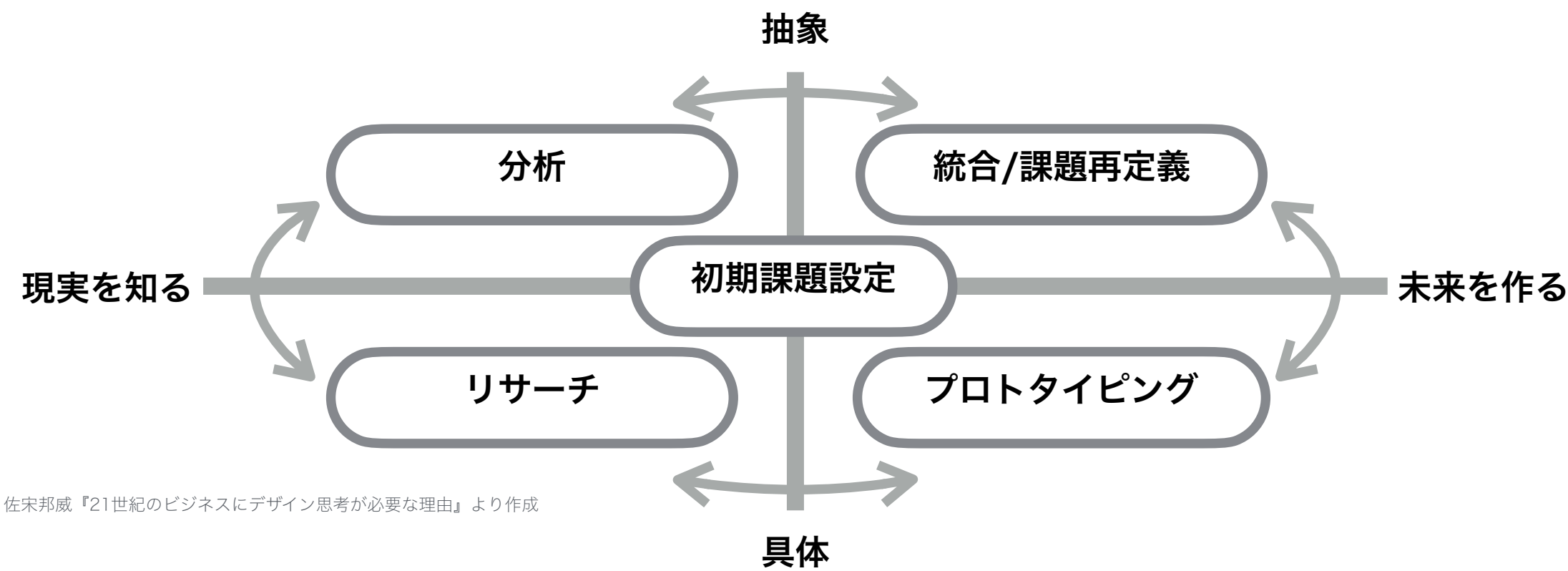
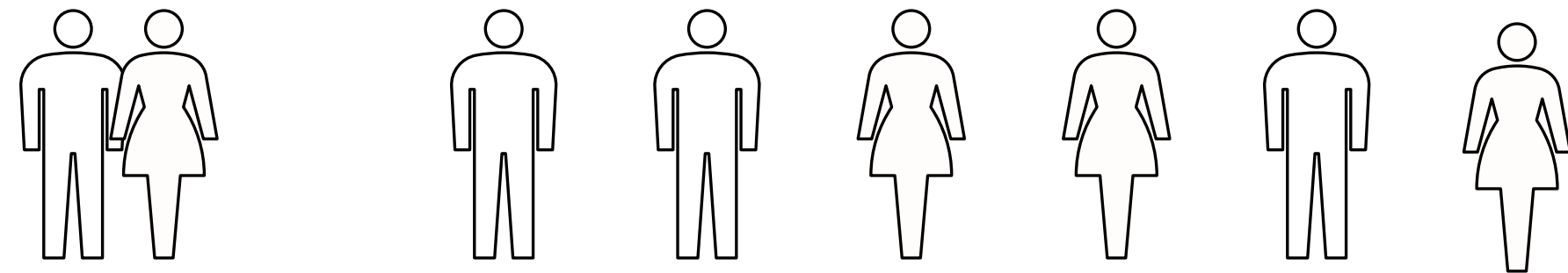
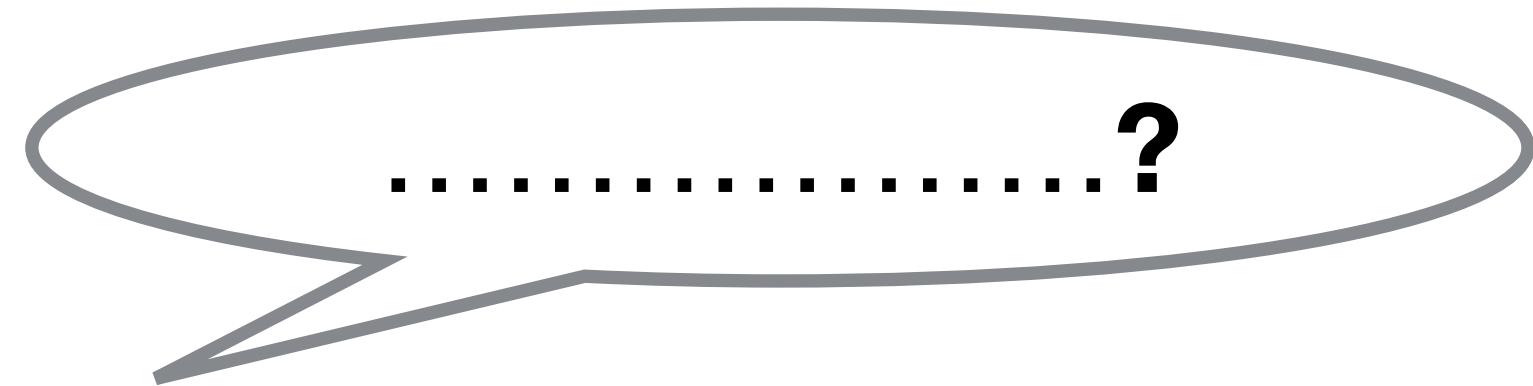


事業対象者: 専門知識を習得し、
さらに「デザイン」に関心のある……
大学院生、若手研究者 都市・建築学専攻から
工学研究科全体、東北大学全学へ
個人会員 社会人個人受講生
科目等履修生相当（有料）
法人会員 企業、団体、自治体

育成する人材のイメージ:

- 専門分野を持ちつつ、積極的に越境して幅広い分野との協働のできる人材=Boundary Spanner
- 課題発見から問題解決を実現していく起業マインド、事業化指向をもつ人材。
- 地域の資源をグローバルな価値に接続して創造的な地域活性を推進しうる人材

FDC / PBL Design Studio : 多規範適応型協働によるプロジェクト駆動型デザイン・スタジオ



佐宋邦威『21世紀のビジネスにデザイン思考が必要な理由』より作成

課題の投げかけ

地域や企業・自治体の持つ切実な課題の投げかけ。

多規範のメンバー構成

チームは多様な規範・専門性を持ったメンバーによって構成。スタジオマスター、様々な分野の専門家、学生、企業や地域からの参加者、ファシリテータ等々。

対話的なプロセス

デザイン思考のプロセスは、ステップ通りには進まない。抽象と具体、現実と未来の間を振幅しながら、4つのモードを縦横に反復しながら、対話的に進行。

課題に応じたタイムスケール

3時間、3日間、3週間、3ヶ月間 等々適切なタイムスケールを設定。

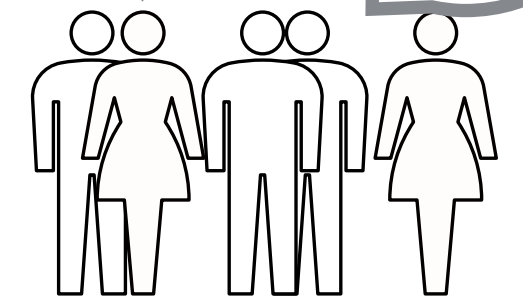
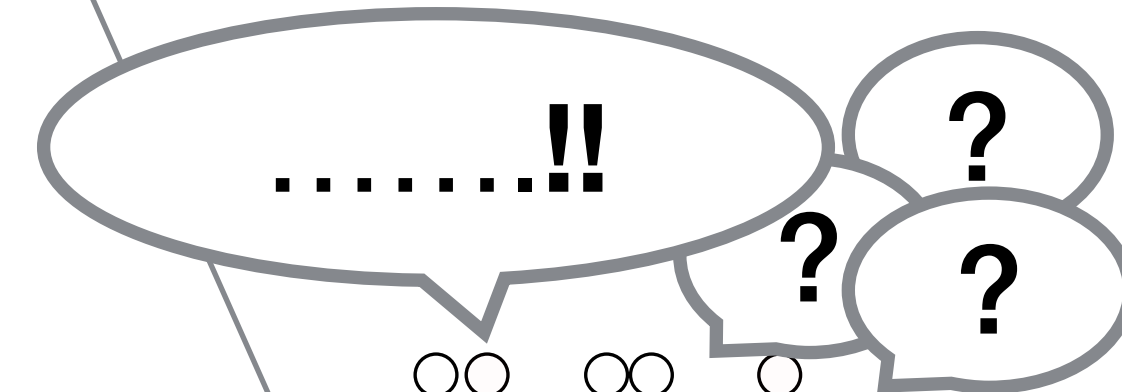
様々な協働のフレームワーク

プロセスに応じた適切な協働のフレームワークを活用。

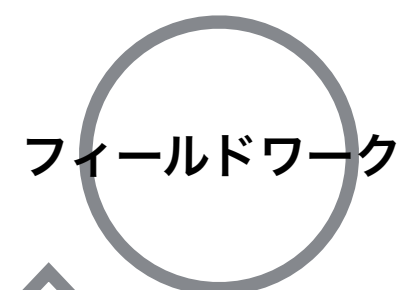
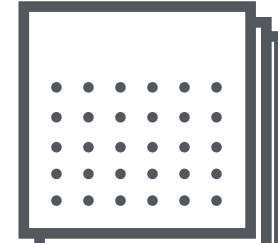
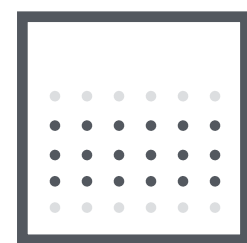
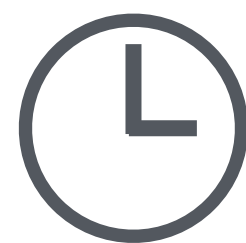
充実した作業環境

青葉山キャンパスに24/7のオープンな作業環境を用意する他、地域の様々な場所を活用。

課題への解決策 …と新たな課題



そして、デザイン人材の育成



レクチャ

ワークショップ

エスキース

フィールドワーク

プレゼンテーション

進行

1. 趣旨説明 (5分)
2. 3~4人のグループになる。 (0分)
3. 各社の強み=できること、得意なことを抽象的に再定義しあう。 (15分)
4. 近未来に想定される生活シーンの中で、自社の強みをいかすプロダクトを考える。 (18分)
5. 全体で発表しあって、共有 (12分)
6. ふりかえり (10分)

ねらい

- 自社の技術・経営資源＝強みを、抽象度高く再定義して、多角的に再評価する。
- 近未来に想定される新しい生活シーンの中で、自社の強みをいかすプロダクトを考える。
- すでにある資源に、新しい「意味」を与え、社会的価値を創出する。

グループ作り

- 3～4人で1グループになってください。
- なるべく異なる属性の方と。地勢、気候、産業構造など。
- なるべく面識のない方と。

地域企業の強みの再定義

- 自己紹介がてら、自分の地域の特定企業を想定し、その強みを紹介してください。
 - 謙遜は無用です。少しぐらい盛ってもOK。
 - 厳しい市場の中で、どんな技術、どんな経営資源が、その企業を支えているか。
- 各社の紹介が済んだら、それぞれの強みを抽象的に再定義してください。
 - 例: 自転車部品と釣具の**シマノ**→小さなものをクルクル回すことができる！
 - 例: **富士フィルム**→肌の角質と写真フィルムは同じ厚さ！ナノレベルの加工技術
 - ブランドのスコープを裏切る。フレーミングをずらす。思い込みを解除する。
- その強みを持つメンバーが集まったら、どんなチームができますか？

新しい生活シーンの中で

- 近未来に想定される新しい生活シーンの中で、自チームの強みをいかすプロダクトを考える。
- テーマは「**感染を警戒しつつ、賑わいを求める社会**」

感染を警戒しつつ、賑わいのある社会

- COVID-19を経験したあとの世界
- ワクチンはできたが、変種が発生する恐れがある
- 感染拡大防止のための分断と、賑やかで楽しい交流とのバランス
- 観光、学習、交流、賑わい、娯楽、創造、

発表

- 私たちの強みは……

-

-

-

- 感染を警戒しつつ、賑わいを求める社会で

をおこないます。

ふりかえり

- 自社の強みの再定義はうまくできましたか？
- 他社の強みの再定義はうまくできましたか？
- 新しい社会の生活シーンを具体的に想像できましたか？
- 強み同士の相乗効果を想像できましたか？